

# 品川区教育委員会会議記録

平成22年 第8回 定例会

場 所 教育委員室  
期 日 平成22年6月8日  
開 会 午後2時00分  
閉 会 午後4時57分

出席委員	委 員 長	安尾 久子
	委員長職務代理者	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	委 員	鈴木 敏夫
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	市川 一夫
	庶 務 課 長	田村 信二
	学 務 課 長	富田 祥子
	指 導 課 長	冠木 健
	小中一貫教育担当課長	和氣 正典
	品川図書館長	小川 陽子

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>署名委員に細川委員、鈴木委員を指名。</li> </ul>
-----------------------------	--

件名	<p>日程第1</p> <p>第49号議案 品川区教育委員会事務事業評価実施要領の改正について</p>
担当課説明等	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区事業評価の概要およびスケジュールについて</li> <li>資料に基づき説明</li> </ul>
委員質疑要旨	<p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改正案はよりまとまった印象があるが、項目6「点検・評価の実施」の(1)「管理」とは何か。また(2)「教育委員会」が重複しており、1文にまとめるべきだと考える。</li> </ul> <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目4「評価の基準」についても、前段で区の事務事業評価を活用する旨記載しているので改めて「事務事業評価に準じ、」と表記する必要はないと考える。</li> </ul>
事務局説明	<p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目6「点検・評価の実施」の(1)「管理」について、一般的には管理と執行という言葉は事務の運用・執行のあり方を総じて表現しているものである。 ここでは「対象事業の」「管理および執行状況」という意味にあたり、本文中に「対象事業の」が明記されていないため、文章が不十分になっている。修正させていただきたい。 項目6の(2)についても委員ご指摘の通りであり、重複する表現であるので、1つにまとめる形で修正させていただきたい。</li> </ul> <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目4「評価の基準」について、委員ご指摘のとおり。修正させていただきたい。</li> </ul>
委員意見要旨	特になし
議事結果	修正可決

<p>件名</p>	<p>日程第2 協議事項 教育委員会事務事業の点検および評価について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>( 庶務課長および各課長 )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は、事業内容および評価について概要を説明する。</li> <li>・ 資料に基づき説明</li> <li>・ 学識経験者に意見を求める事業についてご意見を頂きたい。</li> </ul> </p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>( 委員 A )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は全体説明であるので、特に注意したいポイントについて質疑・指摘を行なう。</li> </ul> <p>( 委員 E )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以下の事業について、次回以降でよいので事務局の考え方も含め、各所管の説明を求める。  No.6 プラン2 1 推進委員会  No.55 教育会に対する助成  No.60 教職員研修の充実  No.61 ステップアップ学習・習熟度別学習  No.68 外部評価</li> </ul> <p>( 委員 B )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.35(教材教具の充実)について、各学校で購入する教材等については予算上の管理が重要だが、適正な予算執行のための購入時の見積などは各学校で行なっているのか、または教育委員会事務局で行なっているのか。</li> <li>・ No.63(まちの人々に学ぶ授業)について、具体的にはどの程度地域の方々に授業などをお願いしているのか。</li> </ul> <p>( 委員 D )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率性で「C」の評価をしているものについては、見直しの必要性があるということなので、評価理由についても改善点や見直しする事項を記載すべきである。改善点や見直しについて触れていない事業がある。</li> </ul> <p>( 委員 C )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率性などに「C」評価がついた事業については、この評価を機会により効率的に事業執行を心がけていくようにしてほしい。改善をしていくことに評価の価値がある。</li> <li>・ 品川ならではの事業である「すまいるスクール」、「和楽器による音楽教育」、「英語教育」などの事業の効率性が「C」となっていることは残念だ。新規事業として導入することは良いが、事業を進める中で不十分な部分があるのではないかと。より良い方法を考えてほしい。</li> <li>・ No.49(教職員互助会に対する補助)について、同事業は実態が見えない。今後どのようにしていくのか方向性を聞きたい。</li> <li>・ No.36(日光林間学園の維持管理)について、今後利用率の向上のために「PRに努める」としているが、以前監査による指摘もあり、施設の運用を教育委員会にとどめるかどうかも含め、地域振興事業部と協議していくと聞いていたが、施設の方向性については教育委員会事務局としてどのように考えているのか。</li> </ul> <p>( 委員 D )  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者に意見を求める項目について「教職員の健康管理」は重要ではあるが、昨年度から時間が経過しておらず、結果や成果が見えにくいのではないかと。今年度ではなく、来年度にもう1度意見を求めるほうが良いのではないかと。</li> </ul> <p>( 委員 E )</p> </p></p></p></p></p></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教職員の健康管理」については、確かにすぐに成果が出るものではないと思う。しかし、年度が変わると校長も教員も多くが入れ替わり、間をあけてしまうと継続的な取り組みができなくなってしまう。教育委員会として継続的な取り組みをしていくという観点からも学識経験者に本事業について意見をうかがうのは良い事だと思う。</li> </ul> <p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教職員の健康管理」について継続的な取り組み、検証を行っていくということであれば少なくとも3年間は継続して検証していただきたい。</li> </ul>
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.35(教材教具の充実)について、予算執行と管理については、備品等の購入は金額30万円までは校長の権限であり、この範囲で校長がその権限において行なうものである。執行にあたっての業者選定などは各学校で見積等適切に行なっているが、区の方針に基づき区内業者へ優先的に発注するよう配慮している。</li> </ul> <p>(小中一貫教育担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.63(まちの人々に学ぶ授業)について、地域の職人の方や昔を知る方、優れた地域活動をされている方など、相当数の方をお願いしている。こういった方の生の声を届けることにより、子ども達にも良い刺激を与えており、今後も積極的に活用していきたい。予算としては1回3,000円の謝礼をお支払している。</li> </ul> <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価理由について、ご指摘のとおり効率性や総合評価が「C」であるものについては、問題点や見直しの方向を示すべきである。評価理由について不十分なものについては再度検討する。</li> </ul> <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.62(英語教育)について、効率性を「C」としていることについては、今まで実績を積み重ねてきたが、今後に向けて何をすべきかを改めて検討し、より良くしていく余地があるという意味で敢えて「C」という評価としたものである。</li> <li>・ No.49(教職員互助会に対する補助)については2分の1を補助している。他の自治体の互助会事業で問題となったのが、給与の二重取りと誤解されるような事業であるが、品川区の教職員互助会については、そのような事業はない。今後もこのような点について厳しくチェックし、より良い事業展開を支援していくという意味で「C」評価としている。</li> </ul> <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.7(すまいるスクール)の効率性について、事業遂行方法としては区民との協働を促進し、大学との連携などを進めている。従来から12億円程度の事業予算がかかっており、改善の余地はあると考えている。</li> </ul> <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効率性の評価等について、評価対象としている各事業については予算規模や事業の性質がそれぞれ大きく異なっており、それに伴い事業自体の目標設定を高く設定すべきものとそうでないものがある。これら個々の事業の経費やその背景なども含めた上で評価を考えていくべきものだと考えている。 例えばNo.7(すまいるスクール)については、開始当初は前例のない事業であり、年間12億円の予算を計上してきたが、従来の事業執行手法に改善すべき点もあると考えており、敢えて「C」評価としたものである。</li> </ul> <p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.36(日光林間学園の維持管理)について、日光林間学園は校外施設としての側面と区の保養所としての側面を持っている。教育委員会事務局としましては、校外施設として区立学校の優先利用が確保できれば良いと考えている。</li> </ul>

	<p>保養所の所管である地域振興事業部と今後協議していくが、まず教育委員会としてできることとして、私立学校へのPRに努めるなど、利用を促進していくことを考えている。</p> <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.36(日光林間学園の維持管理)について、教育委員会事務局としましては、校外施設としての機能が確保できれば、同施設について教育委員会事務局が保有している必要はないと考えている。当面は、施設の有効活用を図っていくものであり、その意味で「C」評価としたものである。</li> </ul> <p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者に「教職員の健康管理」について意見を求めることについて、1年では大きな成果が見えないというのは委員ご指摘の通りと思う。しかし、昨年度は在職死亡が発生し、事務局としてはこの事態を重く受け止めている。明確な成果が今年示すことができないとしても、継続的にこの問題に注視していきたいと考えている。</li> </ul> <p>(図書館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPadなどのIT化と図書館について、iPadなどのツールは非常に利便性が高いものだと思えている。しかしそれとは別に、紙の図書の良さというものがある。図書館としては紙の本から伝わる実感や、紙の香り、そういったものもあわせて利用者の方々にサービスを提供していきたい。</li> </ul>
委員意見要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No.36(日光林間学園の維持管理)について、昔に比べ同施設のサービスは良くなってきていると思う。他自治体の現状を見るとこのような保養所は閉鎖している自治体も見受けられる。今は顧客のニーズも民間のサービスもレベルが高くなっており、区の保養所が民間のサービスと競争することはとても困難なことだと思う。このような状況で教育委員会が同施設の利用向上に努めるべき立場であるのか疑問がある。</li> </ul> <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者へ意見を求める項目について、「教職員の健康管理」は継続でお願いするとして、「学校のIT化」も「図書館サービス」もタイムリーで大切な事業であり、是非意見を求めたいと思う。昨今のiPadの発売などの状況から考えるとIT化は重要なキーワードであるし、IT化によって公立図書館という概念が世の中からなくなってしまう可能性もあるかもしれない。</li> </ul> <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPadでは本が非常に低価格で購入できたりする。こういう環境は図書館にも波及していくのではないかと思う。そういう意味で学識経験者に「IT化」と「図書館サービス」について意見を求めることはタイムリーだと思うし、教育委員会としても教育環境が劇的に変わっていくことを踏まえてこの先のことを考えていかなければならないと思う。</li> <li>・ ITは普及しても紙の図書の良さというものはある。</li> </ul> <p>(各委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者に意見を求める項目は「教職員の健康管理」、「学校のIT化」、「図書館サービス」としたい。</li> </ul>
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者へ意見を求める項目については、教職員の健康管理、学校のIT化、図書館サービスとする。</li> <li>・ 各事業の詳細な点についての質疑、説明については次回以降も随時行っていくものとする。</li> </ul>

件名	日程第3 報告事項1 平成22年度新入学学校別増減要因について
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項2 平成22年度品川区研究学校について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(指導課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>特になし</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(指導課長) ・ 重点支援校については、具体的な数値目標を定め、校長の経営を助けていく。 ・ また成果が不十分な学校については、校長への指導を徹底していく。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員E) ・ 第4グループの研究内容において、「コーディネーター」を活用すると記載しているが、コーディネーターの設置が形式的になる恐れがある。 戸越小の新井校長による研究では、小中連携においてコーディネーターが必要な段階というものが存在するとしている。コーディネーターを設置するということだけでは一部の教員に負担が増すだけだ。新井校長の研究などを参考にし、段階に応じたコーディネーターの活用を図るように。 ・ 小学校の英語教育を中学校側が歓迎していない、中学校英語をやりにくくしているといった認識がある。こういった考えを変えていかなければならない。 ・ 重点支援校の支援にあたっては何を目標におくのか。具体的にすること。 ・ 特別支援学級で成果を上げている学校であるのに、それを逆に健常者が入学を避けていると考えている者もいる。先生たちの努力が実るようにこういった考えを変えていかなければならない。 ・ 研究のための研究であってはならない。 ・ 学力定着度調査は教員、校長の指導力を見るもの、意識を変える目的で行なうものである。子どもの点数を上げることを目標にしてはいけない。 ・ 校長の責任を明確に示さなければならない、学校に不十分な点があればそれはまず教員の前に校長の責任が問われるべきである。</p> <p>(委員A) ・ 各校長には責任を持って、学校を指導して行ってほしい。 ・ 指導課は遠慮なく学校を指導していくこと。意識改革は大変であるが、大切なことである。</p> <p>(委員C) ・ 各研究学校のテーマは従来に比べ大分具体的になった。何を狙いとしているかはっきりするようになった。 研究では是非良い成果を出し、区内の先生方でその成果を共有して行ってほしい。</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	日程第3 報告事項3 品川区立学校教育職員採用候補者選考について
担当課説明等	(指導課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(委員 E) ・ 採用選考にあたり、面接を教育委員が行なうことはできるか。
事務局説明	(指導課長) ・ 検討したい。
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承



<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項4 荏原東地区小中一貫校の名称について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(小中一貫教育担当課長) ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員C) ・ それぞれの校名の候補について、アンケートなどの結果、内訳を見たい。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(小中一貫教育担当課長) ・ 各校名候補の内訳については別途報告する。なお、校名と決定した「豊葉の杜」という候補名は得票数は少なかったが、準備会の中で検討した際に支持が多かったものである。</p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員E) ・ とても良い校名の候補案を考えていただいたと思う。</p>
<p>議事結果</p>	<p>了承</p>

件名	日程第3 報告事項5 小中一貫教育全国サミットの2次案内について
担当課説明等	(小中一貫教育担当課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承